

■「白河～大内宿～会津若松」観光路線バス

▶出発式セレモニーの様子（4月6日）



JR白河駅とJR会津若松駅を結ぶ観光路線バスが、4月6日から運行を始めました。バスは、11月24日(日)まで毎週土・日曜日、祝日にそれぞれJR白河駅発とJR

会津若松駅発を1日2本運行します。

途中、キヨロロン村、大内宿、芦ノ牧温泉、鶴ヶ城入口に停車します(大内宿には1時間程度停車)。また、東北新幹線との接続を考慮し、JR新白河駅を経由します。

▶JR白河駅発 午前11時→JR会津若松駅着 午後2時55分

▶JR白河駅発 午後2時→JR会津若松駅着 午後5時35分

▷JR会津若松駅発 午前9時10分→JR白河駅着 午後1時5分

▷JR会津若松駅発 午後3時40分→JR白河駅着 午後6時15分

☎福島交通 ☎3151 / 会津バス ☎0242-5555

■びゅうばす「新島八重と幕末歴史号」

5月11日(出)からJR東日本のびゅうばす「新島八重と幕末歴史号」が運行を始めます。

バスは、JR新白河駅を午前10時に出発し、小峰城跡を見学後、大内宿、鶴ヶ城・大河ドラマ館などを巡り、JR会津若松駅に午後4時55分ころに到着します。

びゅうばすは、9月30日(月)まで毎日運行します。

☎JRバス東北福島支店 ☎024-534-2011

■「白河口の戦い」で激戦の舞台となった稲荷山公園(九番町西裏)周辺を整備



「八重の桜」で放映される予定の「白河口の戦い」で会津藩が本陣を敷き、戊辰戦争最大の激戦地となった稲荷山公園。

市では、多くの観光客の皆さんに来ていただくために、遊歩道階段と駐車場を整備するとともに誘導板と案内板を設置しました。また、ふもとから山頂にかけて、奥羽越列藩同盟軍と新政府軍による激戦の様相を伝えるため、会津や二本松、薩摩や長州など各藩の「のぼり旗」がたてられています。

歴史のまち白河の新たな観光名所となることが期待されます。



◀整備竣工記念式典の様子(4月18日)

新種の八重桜
「はるか」を植樹

綾瀬はるかさん、西島秀俊さん、内藤慎介さんら関係者の皆さんが、南湖公園で、綾瀬さんが命名した新種の八重桜「はるか」を植樹しました。

「八重の桜」のスタートにあたり、物語の舞台である福島を盛り上げること、独立行政法人森林総合研究所が開発した新種の桜を広める運動が結びついた企画で、この桜が植樹されるのは、南湖公園が初めてとなります。

植樹後に、城山公園(郭内)を訪れた3人は、プレイベント「白河小峰城さくらまつり」の

中で行われた白河提灯まつりを見学。3人は、迫力ある勇壮な神輿の行列を楽しんでいました。

市民会館(手代町)では、始めに、歌手の三浦サリィさんとしらかわ音楽の祭典児童合唱団により、fukushimaさくらプロジェクトテーマソング「桜咲く」が披露され、その後、3人によるトークショーが行われました。集まった約1,300人の観客は、撮影のエピソードやドラマにも登場する白河だるまなどの話に耳を傾け、熱い眼差しを送っていました。

「八重の桜」をきっかけに、本市の魅力が全国に向けて発信され、多くの観光客が訪れることが期待されます。



▲植樹式の様子(右から佐藤雄平県知事、綾瀬はるかさん、西島秀俊さん、鈴木市長)

大河ドラマ「八重の桜」について白河が登場!

(放送 NHK総合 毎週日曜午後8時~8時45分ほか)

5月5日に本市が舞台となるシーンが登場します。さらに、6月にも放送される予定で、今後の展開が注目されます。

《5月5日放送予定のあらすじを紹介》
第18回「尚之助との旅」

会津の防衛に不安を抱いた尚之助は、八重を連れだつて周縁の地域の見聞に回る。白河を訪ねた後、二本松に立ち寄った2人は、そこで熱心に砲術教練に励む少年隊士たちに出会う。二本松藩では変事に備え、藩士はみな鉄砲を学ぶようにとの通達が出されていたのだ。会津に戻ると、尚之助に藩から仕官の認可が下り、八重も権八や佐久と喜び合う。尚之助は早速、周縁地域の見聞録や軍備増強策を提出し藩からも評価される。しかし、守護職就任以来かさみ続ける出費により、もはや藩には尚之助の献策を実現させる余力はなかった。

放送中の大河ドラマ「八重の桜」。

4月20日には、主演の綾瀬はるかさん、八重の兄・山本寛馬役を演じる西島秀俊さん、番組の制作統括・内藤慎介さんが本市を訪れました。また、「八重の桜」の5月から6月の放送で本市が舞台となるシーンが登場する予定です。

今月号では、皆さんが本市を訪れた様子や今後の大河ドラマの放送予定など、「八重の桜」の関連情報を紹介します。